

## 蒲刈中学校区 カリキュラムマップ

- 課題解決のために必要な知識・技能を身に付けている子
- 課題発見・解決学習を通して、自分たちは何ができるかを発信する子
- 主体的・協働的に取り組み、積極的に社会貢献しようとする子

### 目指す児童生徒像

#### 1 「育成を目指す資質・能力」の具体の姿

	知識・技能	思考・判断・表現	自己の生き方を考える力	協働的に関わる力
後期	○地域の課題解決のために、様々な業種や立場の人たちが連携協力していることを知り、自らも共に地域貢献していくことの大切さを理解する（連携性）。 ○自己の将来設計を達成するために、志を抱き自らその実現のために行動することの大切さを理解する（責任性）。	課題解決の計画に沿って、情報収集の方法を適切に選択でき、探究の過程での学習内容を批判的に整理・分析し、自分たちは何ができるのかを効果的にまとめ・表現・発信することができる。	他者の生き方にふれながら、学びを自己の成長へと結び付け、よりよく生きようと考えている。	学びの経験を社会の形成者としての自覚につなげ、積極的に社会参画しようとする。
中期	○とびしま四島・呉にある多種多様な自然・産業・文化芸能等について、多面的に見たり考えたりする（多様性）。 ○災害とその防止に関する知識を知り、状況に応じて、課題解決のために互いに協力することが大切であることを理解する（連携性）。	出会った探究課題をもとに、解決すべき課題を設定でき、情報収集方法や収集した情報の内容について、多面的・多角的な整理・分析ができ、目的意識や相手意識をもちながら、まとめ・表現することができる。	自分にとって、学ぶことの意味や価値を考えることができ、自己の成長のための自己課題に積極的に取り組んでいる。	互いのよさを生かしながら、学びの経験を実社会や実生活への興味関心につなげ、進んで地域活動に参加しようとする。
前期	○蒲刈には、さまざまな特徴ある自然やものづくりがあることに気付く（多様性）。 ○地域の人々が協力して、安全なまちづくりに努めていることに気付く（連携性）。	調べたい課題を設定し、必要な情報を収集でき、収集した情報を比較したり、関係付けたりして整理・分析し、相手を意識して表現することができる。	自分の成長を自信につなげ、よりすてきな自分になるための自己課題に気付く、取り組んでいる。	学びの中で、互いのよさや違いに気付く、課題をよりよく解決するために協力しようとする。

#### 2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等
後期	地域貢献 (国内の外国人・県外の人へ)	外国語科では、外国人へふるさとをどのように伝えるかという学習を取り入れ、社会科では地域参画、少子高齢化・過疎化等の社会問題学習とのリンクを図る。
中期	受け継ごう・伝えよう (四島から市内・県内へ)	蒲刈からはじまり、近隣の町（下蒲刈・豊浜・豊）まで学習対象を広げ、とびしま四島での共通課題に気付かせる学習を取り入れた。
前期	知りたい・見つけよう (島内へ)	蒲刈のことを中心に、その特徴の多様性に気付かせるよう、特に理科、社会科、生活科とリンクを図る。

#### 3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

総合的な学習の時間は、9年間を通して二本の柱「生き方学習」と「ふるさと学習」を意図的・計画的に配列している。これらを支える学習プロジェクトとして、近隣の下蒲刈中学校区、豊浜中学校区と協働して学ぶ「とびしまプラン」や学びを自分の生き方・成長に結び付けるために、多くの人たちと出会わせる「未来を拓く100の出会いプロジェクト」を小中共通で取り組む。

蒲刈中学校区カリキュラムマップ  
**蒲刈中学校区教育目標『未来を拓く児童生徒の育成』**

知識・技能	思考・判断・表現	自己の生き方を考える力	協働的に関わる力
(目指す姿) ○地域の課題解決のために、様々な業種や立場の人たちが連携協力していることを知り、自らも共に地域貢献していくことの大切さを理解する(連携性)。 ○自己の将来設計を達成するために、志を抱き自らその実現のために行動することの大切さを理解する(責任性)。	(目指す姿) 課題解決の計画に沿って、情報収集の方法を適切に選択でき、探究の過程での学習内容を批判的に整理・分析し、自分たちは何が出来るのかを効果的にまとめ・表現・発信することができる。	(目指す姿) 他者の生き方にふれながら、学びを自己の成長へと結び付け、よりよく生きようと考えている。	(目指す姿) 学びの経験を社会の形成者としての自覚につなげ、積極的に社会参画しようとする。

	学習対象(何と出会うか) ひと・もの・こと	学習事項(何を学ばせるか)	関わり 発信先	教科等との関わり
9年	町おこし協力隊(とびしまに移住してきた人達)、呉広域商工会(安芸灘観光振興プロジェクト委員会の皆さん)、子育て環境に携わる人・施設、高齢者福祉のために働く人・施設	地域理解と地域貢献及び自分の将来の生き方 自分と対峙し自己理解を深め、未来を拓く志	国内の外国人↑県外	国語 編集して伝えよう 数学 標本調査 外国語 I Have a Dream. 道徳 郷土愛 日本遺産
8年	学生、自己研鑽をしている人、自己課題、自分の将来設計 地域で働く人や様々な仕事	自分と対峙し自己理解を深め、自分の進路設計や生活に繋げる 働くことの意義や喜び、社会人として必要なもの、こと		国語 説得力のある提案をしよう 保体 自然災害 外国語 My Dream 道徳 勤労と奉仕
7年	とびしま博士に挑戦！ とびしま(下蒲刈島、豊島、大崎下島)の下蒲刈町、豊町、豊浜町の自然環境(海洋も含む)、産業、文化等、ひと・もの・こと、とびしま検定様々な災害(高潮災害・津波災害・地震災害・土砂災害・地震災害・水害等)とその防災、減災に関わっている組織、人、避難所としての中学校	近隣の町のことを知り、少子高齢化や過疎化の課題は、蒲刈と同じであり、協働して解決していく課題 災害の恐ろしさや防災・減災のための知識・技能 避難所設置シミュレーションを通して緊急時の諸問題の解決に主体的に参画しようとする意識・態度	県内↑市内↑4島	国語 学校新聞の記事を書こう 数学 資料の活用 理科 大地の変化 音楽 日本の伝統音楽 外国語 My Family
6年	伝統を創ってきた先輩、自分たちが創った蒲刈太鼓や神楽 蒲刈の特産物・文化芸能、地域の祭り、それらに関わる人たち、願い、思い	蒲刈の特産物・文化芸能に託す地域の人たちの思いや願い 地域の人たちと協働してふるさとに貢献しようとする気持ち		国語 資料を生かして呼びかけよう 算数 資料の調べ方 外国語 I like my town.
5年	伝統を創ってきた先輩、自分たちが創った蒲刈太鼓や神楽 蒲刈の特産物・文化芸能、地域の祭り、それらに関わる人たち、願い、思い	受け継がれてきた蒲刈の伝統の意義とその継承の使命		国語 資料を生かして考えたことを書こう 算数 割合 外国語 Who is your hero?
4年	蒲刈博士にちょうせん！ なぎさ100選の県民の浜の生き物博士、桂の滝、みかん作りに携わる人、中国物産の工場 家族、自分史と自分に関わった人たち	地域の自然やものづくりのおもしろさを知る 家族への感謝の気持ち、自分の夢の実現にむけての決意	島内↑町内	国語 報告します みんなの生活 理科 春・夏・秋・冬の生き物 社会 わたしたちの広島県 算数 折れ線グラフの調べ方 整理の仕方 外国語 お気に入りの場所を紹介しよう
3年	なぎさ100選の県民の浜の生き物博士、桂の滝、みかん作りに携わる人、中国物産の工場 水害殉難之碑、地域の安全見守り隊	地域の自然やものづくりのおもしろさを知る 危険な場所や安全施設についての理解、見守り隊への感謝		国語 町について調べてみようかいしよう 社会 わたしたちのまちみんなのまち 算数 表とグラフ 理科 身近な自然の観察
2年	であいの館、蒲刈の特産物、蒲刈のお店、まちづくりセンター、楽笑クラブ	身近な地域に出かけ、自分と地域の関わりを広げる 地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもつ	町内↑校内	国語 名人をしょうかいしよう
1年	小中学校で働く人々、蒲刈の自然、保育所年長児、保育所で働く人々、給食センターで働く人々、楽笑クラブ	学校の施設や学校生活を支えている人々や友達に気付く 身の回りのものでおもちゃを作り、みんなで楽しく遊ぶための工夫を考える		国語 おもい出してかこう

未来につなごう愛するふるさと

未来を拓く一〇〇の出会いプロジェクト



## 第9学年

### 単元名 30年後のふるさと蒲刈へのメッセージ

指導者 開内 佑樹

#### 1 単元目標（探究課題，学習事項）

【30年後のふるさと蒲刈へのメッセージ】（50時間）第9学年

少子高齢化と過疎化による町の衰退と未来への展望に関わる諸課題の解決をするための探究的な学習を通して、地域理解と地域貢献及び自分の将来の生き方について学ばせ、次のような資質・能力の育成を目指す。

##### A：知識・技能

課題解決のために、様々な立場の人たちが連携協力していることを知り、自らも共に地域貢献していくことの大切さを理解する。

##### C：自己の生き方を考える力

他者の生き方にふれながら、学びを自己の成長へと結び付け、よりよく生きようと考えている。

##### D：協働的に関わる力

学びの経験を社会の形成者としての自覚につなげ、積極的に社会参画しようとする。

#### 2 本単元の概要

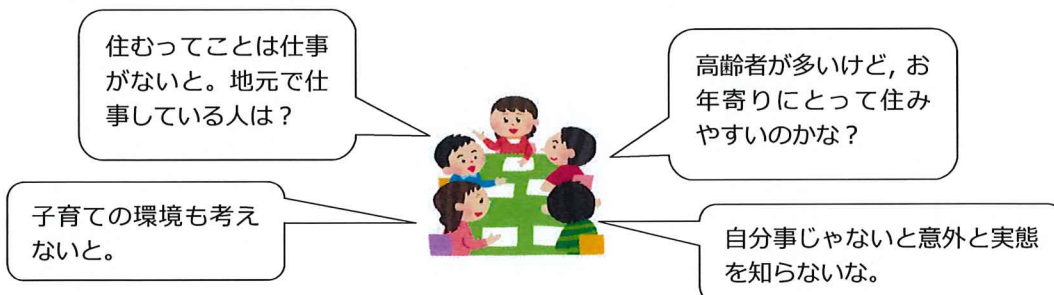
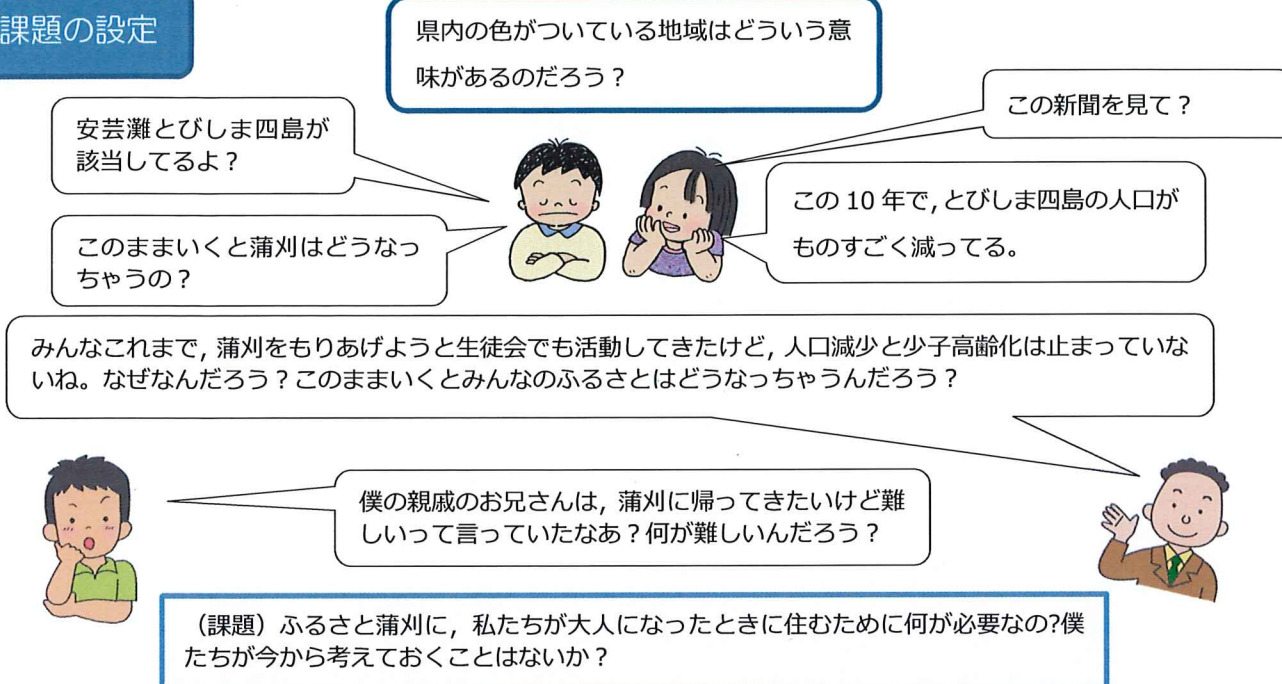
本単元は、少子高齢化と過疎化による蒲刈町の衰退の問題と出合わせることで、自分たちが地域を活性化させるために地域の人たちと考え、プランを立て、実行する単元である。

#### 3 単元の評価規準

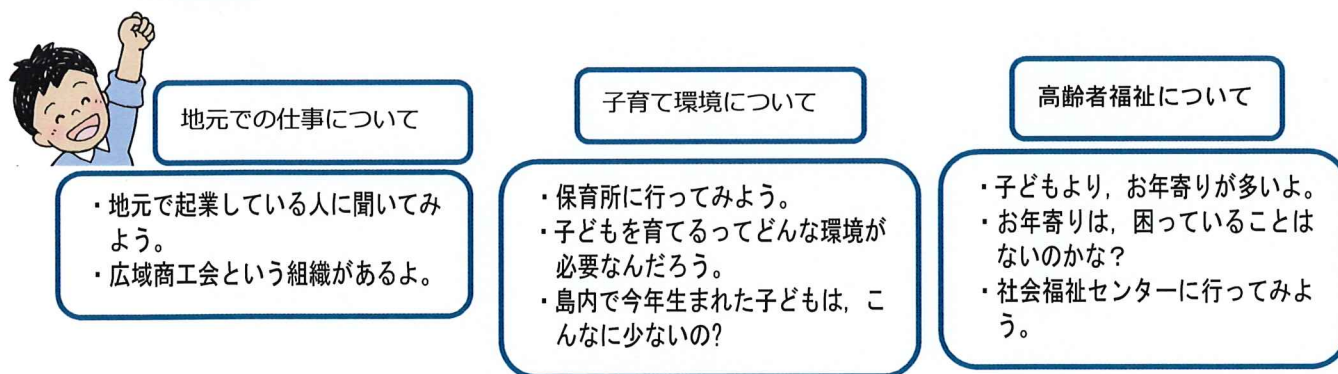
評価の観点及び評価規準	知識及び技能	学びに向かう力，人間性等	
	地域の課題解決のために、様々な業種や立場の人たちが連携協力していることを知り、自らも共に地域貢献していくことの大切さを理解している。	地域のために尽力する人たちの生き様から、自分がよりよく生きようとするためにはどうすればよいかを考えている。	ふるさと活性化のための企画を地域の人たちと考え、実際に企画を実行することを通して社会参画している。
育成を目指す資質・能力	知識・技能	自己の生き方を考える力	協働的に関わる力

## 4 単元の流れ

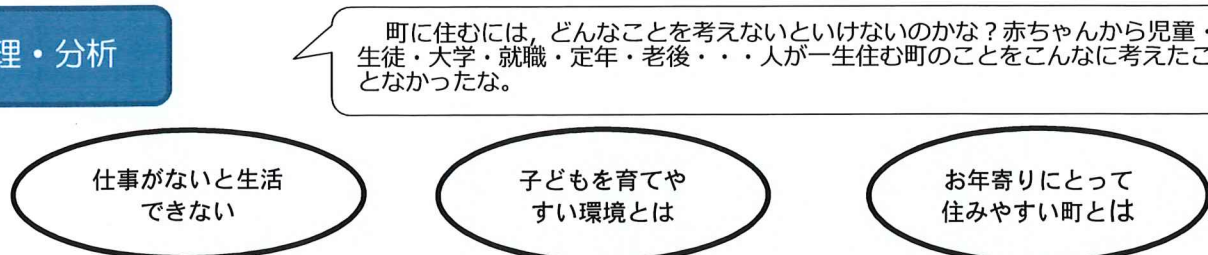
### 課題の設定



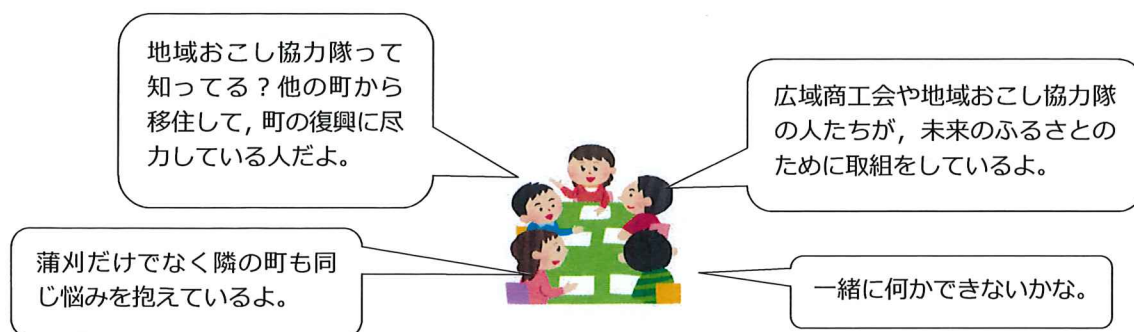
### 情報の収集



### 整理・分析







## 課題の設定

（新たな課題）地域おこし協力隊の人や、広域商工会の人と、町おこしについて一緒に関わって自分たちで何かできないかな？

## 情報の収集



- ・蒲刈だけでなく、豊浜や豊、下蒲刈も一緒に安芸灘四島として考えることが大切だ。
- ・地元の人じゃなくて、他県から、わざわざ移り住んで私たちのふるさとのことを本気で考えている人がたくさんいるよ。
- ・たくさん人を呼び込む取組をしているんだな。自分たちが、何も知らないじゃ、いけないね。

## まとめ・表現

取組に参画して、中学生としてできることを、みんなで考え、実際に動いてやってみよう。

### 地域の人と協働する（発信）



## 振り返り

- ・ふるさとで生活するために、自分たちのふるさとの課題について、自分事としてとらえられたか？
- ・蒲刈だけでなく、安芸灘四島で考えたり、地域の人たちと協働したりしていくことの大切さに気付けたか？

## 5 内容の取り扱いについての配慮事項

### （1）他の単元とのつながりに関連する注意事項

これまで生徒は、第5・6学年でふるさとを活性化するための探究課題と出会い学習をしているが、小学校ではその対象が蒲刈地域に限定されていた。それが、第7学年では、蒲刈だけでなく下蒲刈、豊・豊浜の地域も扱うことで、近隣の島も含めた広い地域の将来を考える視点をもつようになった。本単元では、発信先をとびしまから呉市外や県外、世界へと広げ、より広い視野に立って考えるところが特徴である。

本単元は、蒲刈町の未来を人口推移や新生児の誕生数から考えさせ、人を増やすために何が必要かを考えさせるところからはじまる。子育て環境から保育所へ、高齢化社会から社会福祉へ、生活基盤のための仕事から広域商工会へと、具体的な学習対象を想起しやすいように単元を工夫しているが、課題解決のためには、蒲刈だけでなく、下蒲刈、豊浜なども含めたとびしま四島を視野に入れていくことが大切であることに気付かせたい。

## (2) その他の注意事項

- ・ 蒲刈町内での体験活動は高齢者福祉施設，保育所等が考えられるが，蒲刈だけで完結せず，近隣の島も同じような課題があることをおさえない。
- ・ 広域商工会が中心に行っている安芸灘観光振興プロジェクトの人たちとは，中学生との協働活動を希望されていることから，必ず連携をとりたい。
- ・ ボランティア体験ではなく，地域参画が目標なので，企画の段階から地域の人たちと一緒に考え，自分たちが実行可能な地域活性化プランを企画・実行させたい。

(「未来を拓く100の出会いプロジェクト」本単元で出会わせたいゲストティーチャー)

- ・ 地域おこし協力隊OB下蒲刈
- ・ 地域おこし協力隊蒲刈
- ・ レモン農家

## 6 単元指導計画 (総授業時間数 50時間)

月	学習内容	時数	探究の過程	育成を目指す資質・能力評価規準 (評価方法)	関連する教科等
6	<p>○30年後のふるさと蒲刈をイメージし，少子高齢化と過疎化による諸問題の解決をするためには，何が必要であるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て環境 (保育所)</li> <li>・ 地元での仕事 (広域商工会)</li> <li>・ 高齢者福祉 (社会福祉センター)</li> </ul>	5	<div>課題の設定</div> <div>情報の収集</div>	A: 課題解決のために，様々な立場の人たちが連携協力していることを知り，自らも共に地域貢献していくことの大切さを理解する。(ワークシート)	社会科
7	<p>○考えたことをクラスで交流し，自分の保育実習での目標を立て，その目標をもとに必要な準備を考え，計画する。</p> <p>○保育実習を行う。</p> <p>○保育実習の振り返りを行い，礼状を作成する。</p>	9	<div>整理・分析</div> <div>情報の収集</div>	C: 他者の生き方にふれながら，学びを自己の成長へと結び付け，よりよく生きようと考えている。(ワークシート)	家庭科
8	<p>○ゲストティーチャーから講義を受け，課題を設定する。</p> <p>○現地に行き，地域の方から聞き取りや調査・体験活動などを行う。</p>	11	<div>まとめ・表現</div>		
9	<p>○広域商工会や地域おこし協力隊の人たちの取組をしり，協働していくことができないか考える</p>	11	<div>課題の設定</div>		

10	○情報を分析し、キーワードを決めて整理する。	1 1	情報の収集	D: 学びの経験を社会の形成者としての自覚につなげ、積極的に社会参画しようとする。(ワークシート)	国語科 道徳
	○合同発表会に向けて学習の成果をまとめて発表する。		整理・分析		
11	○地域貢献活動をする。	3	まとめ・表現		

## 7 本時の展開（本時 1 / 50 時間目）

### （1）本時の目標

蒲刈の強み（良いところ）と課題の両面を見つけるとともに、課題解決（人口減少・観光客の減少）に向けた今年度のチーム蒲刈プロジェクトの活動の案を立てる。

### （2）本時の展開

学習活動	○指導上の留意点 ◆配慮を要する生徒への手立て	評価規準 (評価方法)
1 課題設定 ・昨年度のチーム蒲刈★(星)プロジェクトの活動を振り返る。 ・成果と課題を考える。	○昨年度の3年生の取組を、発表資料をもとに振り返るとともに、成果と課題を挙げさせる。	
2 情報の収集及び整理分析		
蒲刈が抱える課題はどんなものがあるか？また蒲刈の強み（良いところ）は何だろう？		
・蒲刈の課題と強み（良いところ）を挙げる。 【個→集団】	○「課題→強み」の順で考えさせる。課題もあるが、強み（良いところ）もたくさんあることに気付かせる。 ○なるべくたくさん挙げさせる。	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化</li> <li>・高齢化</li> <li>・交通が不便</li> <li>・店が少ない</li> <li>・人口減少</li> <li>・観光客が少ない</li> <li>・活気がない</li> <li>・橋代が高い</li> <li>・空き家の増加</li> <li>・働く所が少ない</li> <li>・娯楽がない</li> <li>・観光の目玉がない</li> <li>・学校が減る</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>&lt;強み（良いところ）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊か</li> <li>・穏やか、親切</li> <li>・協力的</li> <li>・伝統行事がある</li> <li>・温泉がある</li> <li>・美しい海</li> <li>・瀬戸内の島の風景</li> <li>・特産物（藻塩、みかん、レモン、魚等）</li> <li>・温暖な気候→住みやすい</li> <li>・土地がたくさんある→安い？</li> <li>・絶景スポット（県民の浜、恋ヶ浜等）</li> </ul> </div> </div>		

蒲刈の人口の減少に歯止めをかけ、増加させるためにはどんなことが必要だろう？		
・人口を増加させるために必要なことを考える。 【ペア→集団】	◆自分が生活の拠点にしたい場所を考えさせる等、自分視点に置き換えて考えさせる。 ○まずは「蒲刈に来てもらう」必要があることに気付かせ、そのための活動を考えてといった流れにもっていく。	A：課題解決のために、様々な立場の人たちが連携協力していることを知り、自らも共に地域貢献していくことの大切さを理解している。(ワークシート)
<div>＜生徒の思考の流れ＞ 蒲刈に住みたいと思ってもらう必要がある。 →そのためには蒲刈のよさを知ってもらう必要がある。 →そのためには蒲刈に来てもらう必要がある。 →そのためには観光の目玉となる物や場所、イベント等が必要である。 ※生徒たちは、<u>人口増加のためには、まず観光客の増加が必要だ</u>と考えた。</div>		
3 新たな課題の認識		
以上のことを踏まえ、今年度のチーム蒲刈プロジェクトの活動案を考えよう。		
・観光客を呼ぶための活動を考える。	○実現の可否に関わらず、まず案をいろいろ出させる。	
<div>＜活動案＞ ・観光の目玉となるものを作る。 ・名物料理を作る。 ・学校を残すための取組をする。 ・特産物の出張販売を行う。 ・サバイバルゲームなどのイベント ・空き地や空き家を有効利用する。 ・安芸灘大橋の無料化 ・ホームページを作り世界へ情報を発信する。</div>		
4 本時のまとめと振り返り		
・本時の学習内容を振り返る。  ・次時の学習内容を把握する。	○本時に考えたことやわかったこと等を振り返らせる。  ○次時の予告と宿題について説明する。	
【宿題】今年度のチーム蒲刈プロジェクトの活動の具体について、考えてくる。 次の授業で、自分の考えをプレゼンテーションできるように準備してくる。		
・宿題用ワークシートの作成方法を把握する。	・実現可能かつ効果的な活動を考えさせる。 ・宿題用ワークシートを配付する。 (企画名・活動計画・設定の理由・期待される効果・実現への課題・必要な協力者 等)	



## 8 成果と課題

### <成果>

- ・地元の現状を調べていくことで、地域の課題や地域でその課題に取り組む人たちについて知ることができた。(A 知識・技能)
- ・地域や課題解決に取り組む方々の思いを知ること、自分たちも地域貢献していくことの大切さを理解できるようになった。(A 知識・技能)

#### 【生徒の記述】

「地元のよさと課題が改めてわかった。また、いろいろな方が地域の活性化のために活動されていることを知った。自分たちのできることをこれからもしていきたいと思った。」

- ・単元前は、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対する回答は、「どちらかといえば当てはまる」75%、「どちらかといえば当てはまらない」25%（全国学力・学習状況調査の生徒質問紙による）であったが、単元後は「当てはまる」が100%となり、地域や社会のために何をすべきか考えられるようになった。(C 自己の生き方を考える力)

#### 【生徒の記述】

「学習を通して、蒲刈のことがより大好きになった。ジュースが商品化されるまでの活動は大変だったが、今回の活動を忘れず、これからも地域のために自分のできることを精一杯やっていきたいと思った。」

- ・市の事業である「呉市子どもまちづくり事業」を計画、実行・運営、報告すること等を通して、企画したものを実施していくことの難しさを経験するとともに、社会参画への意識を高めることができた。(D 協働的に関わる力)

#### 【生徒の記述】

「たくさんの方の協力があって、ウルトラマラニックでの活動やジュースの商品化が達成できた。人の力はすごいと思った。」

### <課題>

- ・中学生だけでは、計画も進まない状況もあり、地域の方々の協力や教員が支援する場面が多くあった。この度の経験を生かし、今後は生徒が主体となってある程度の計画や実施ができるようにしていきたい。(A 知識・技能, D 協働的に関わる力)
- ・様々な場所や機会で広報活動を行ったが、想定された事態には対応できても、想定外の事態には対応できない場面が多くあった。トラブル等を想定できる力を付けるとともに、想定外の事態にも対応できる力を付けていきたい。(C 自己の生き方を考える力)